

石狩市国民健康保険 健康意識等に関するアンケート調査報告書

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査の目的	
(2) 調査の対象	
(3) 調査の方法と期間	
(4) 調査票の発送と回収結果	
(5) 調査結果の留意事項	
2. 調査結果	2
(1) 基本事項の集計	
(2) 結果のまとめ	
(3) 各設問の集計	
(4) 各設問の「その他（記述回答）」	
3. アンケート調査票（参考）	28

令和2年12月

石狩市保健福祉部国民健康保険課

1.調査概要

(1) 調査の目的

調査対象者の健康に関する意識や市国保が実施している保健事業等への認知度を把握し、平成30年2月に策定した「第二期石狩市国民健康保険データヘルス計画」の中間評価及び今後の保健事業の参考とすることを目的とした。

(2) 調査の対象

調査票発送日時時点で石狩市国民健康保険に加入し、市内に住所を有する20歳以上の者から無作為抽出した2,500人の男女

(3) 調査の方法と期間

調査票は返信用封筒を同封して、次の日程で実施した。

- ・調査票発送 令和2年 9月16日（水）
- ・提出期限 令和2年10月 2日（金）

(4) 調査票の発送と回収結果

- ・発送数 2,500件（うち2件を資格喪失により除いたため、有効発送数は2,498件）
- ・回収数 1,305件
- ・回収率 52.2%

(5) 調査結果の留意事項

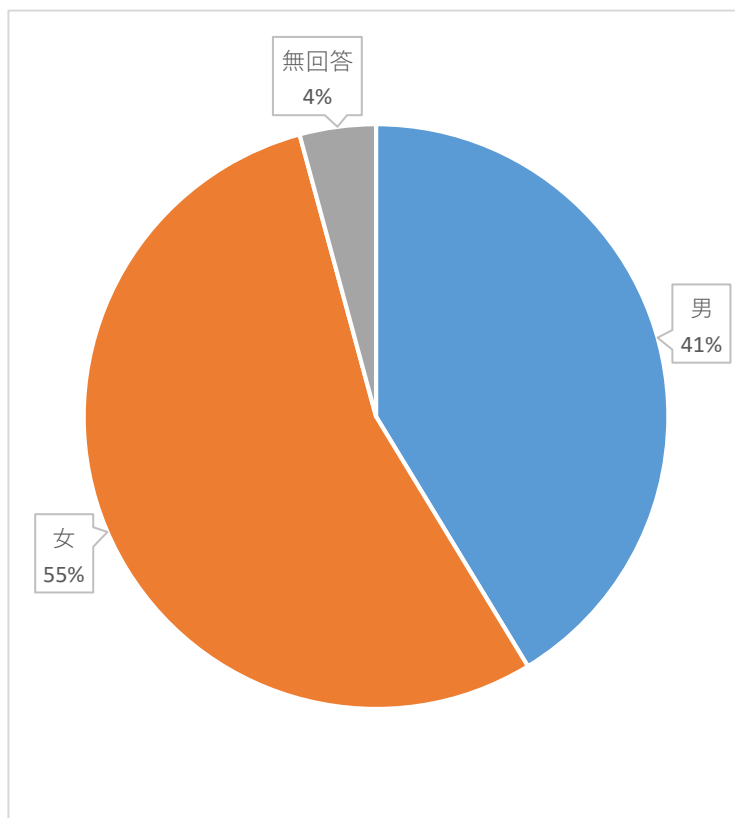
- ・調査結果において「N」は有効回答数を示す。
- ・調査結果において「SA」は単数回答の設問、「MA」は複数回答の設問であることを示す。
- ・複数回答設問では有効回答数が回収数を上回る場合がある。
- ・回答割合は「各選択肢の回答数 ÷ 設問毎の有効回答数 × 100」（%）として算出している。
- ・問4,5,6及び問7,8,9で有効回答数が少ないのは問3の回答内容によって各設問へと分岐するためである。
- ・問13,14及び問15で有効回答数が少ないのは40歳以上を対象としている設問であることと、問14の回答内容によって問15へと分岐するためである。

2.調査結果

(1) 基本事項の集計

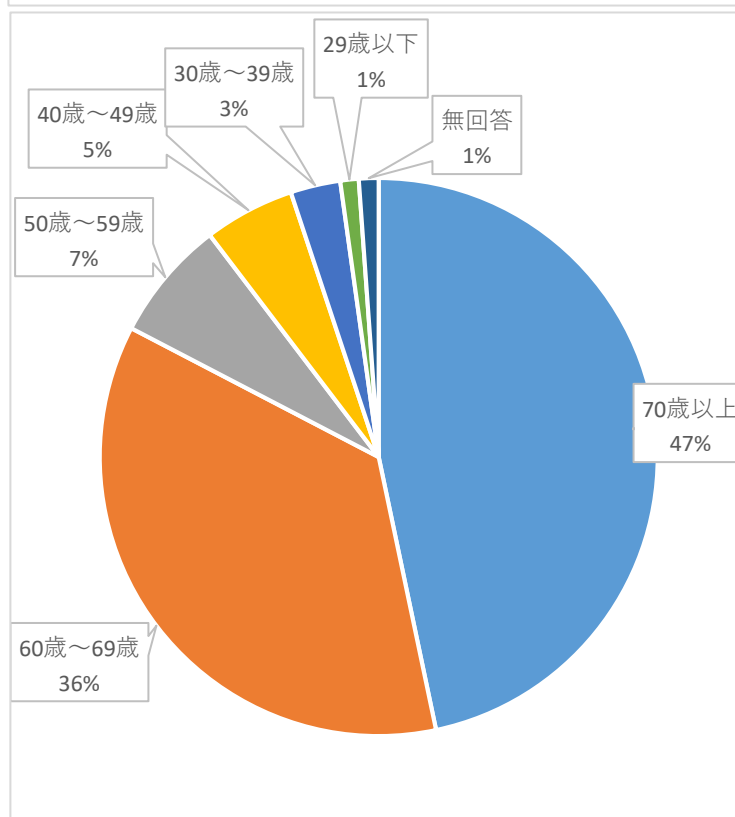
性別

性別	回答件数	回答割合
男	539	41%
女	711	55%
無回答	55	4%



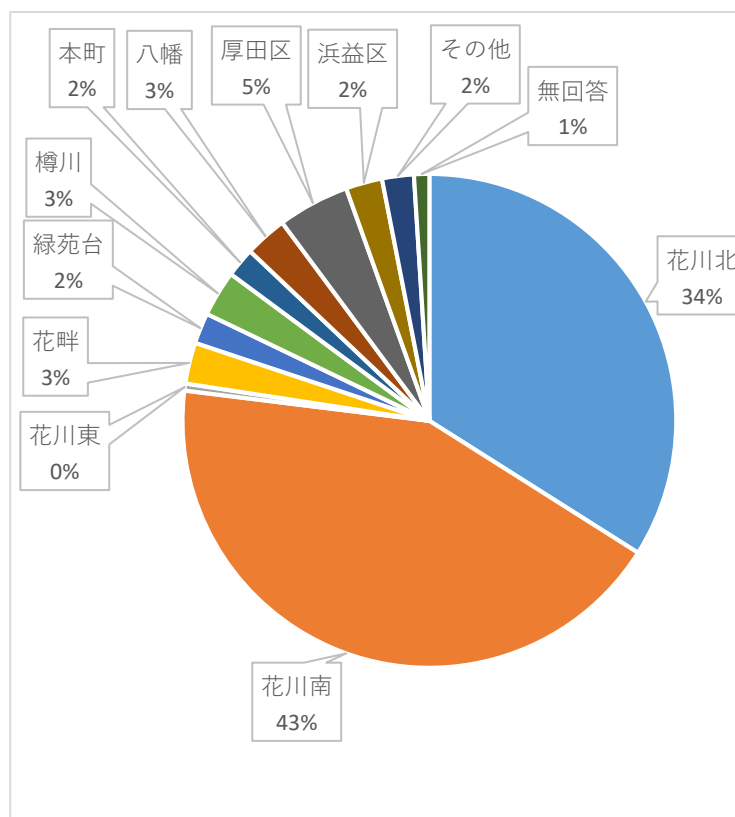
年齢

年齢	回答件数	回答割合
70歳以上	605	47%
60歳～69歳	472	36%
50歳～59歳	92	7%
40歳～49歳	69	5%
30歳～39歳	38	3%
29歳以下	14	1%
無回答	15	1%



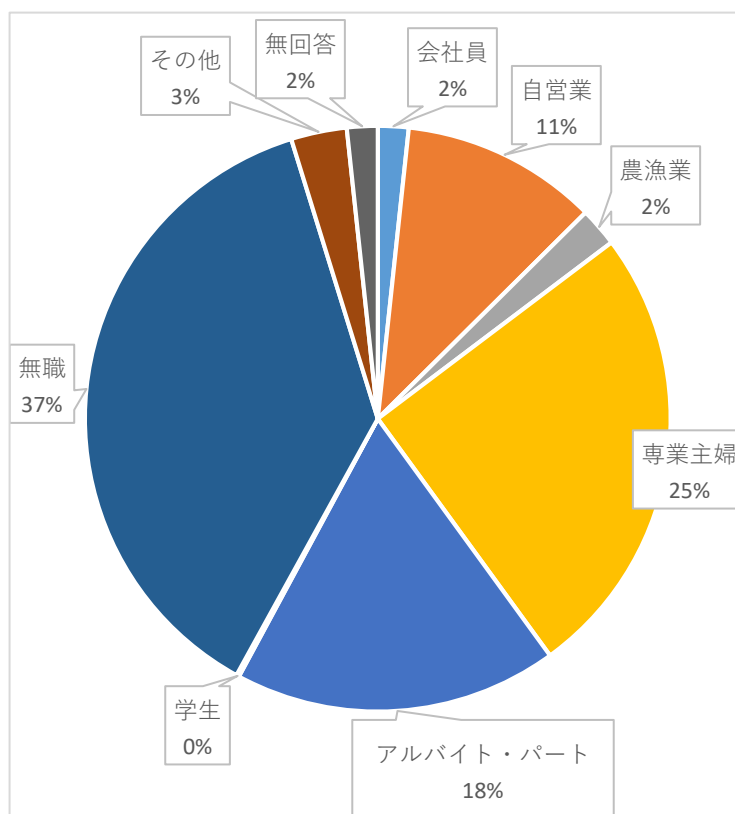
お住まいの地区

お住まいの地区	回答件数	回答割合
花川北	441	34%
花川南	558	43%
花川東	6	0%
花畔	35	3%
緑苑台	33	2%
樽川	39	3%
本町	25	2%
八幡	36	3%
厚田区	61	5%
浜益区	31	2%
その他	27	2%
無回答	13	1%



職業

職業	回答件数	回答割合
会社員	22	2%
自営業	141	11%
農漁業	28	2%
専業主婦	328	25%
アルバイト・パート	232	18%
学生	2	0%
無職	490	37%
その他	40	3%
無回答	22	2%



(2) 集計のまとめ

I 被保険者の健康に対する考えと取組み

i 健康意識等 【関連設問：問 1～3,17～18,20,22】

回答状況

自身の健康状態についての設問では、良好もしくは普通と回答した方が約 3 分の 2 を占め、持病はあるが生活上の支障がない方が 3 分の 1 であった。

日頃の健康づくり、習慣に関する設問では、食事や運動に気を使っている方が多く、複数回答による人数の重複を差引いても、8 割以上の方に何らかの心がけが見られた。

また、過去 2 年以内に健康診断を受けた方が約 7 割となっている。

糖尿病やこころの病気に関わる設問では、複数回答ではあるものの、どちらも 2 千件をはるかに超える大変多くの回答が寄せられた。

傾向・考察

回答者の多くが日常生活において健康の重要性を認識されており、広報や郵便物等で市国保からお知らせしている情報も、参考にさせていただいていると見受けられた。

また過去 2 年以内に健康診断を受けた方の割合は、単純比較はできないものの、市国保で実施している各年度の特定健診受診率（25%未満）よりも極めて高い。その他の設問でも健康管理等について積極的な回答が多く見られ、特に糖尿病やこころの病気に関わる設問では、理解度の高さが読み取れた。

なお、アンケートの一般的な特性から、ご回答いただいた方は今回の調査テーマである健康問題に日頃から関心のある方が多いと思われ、健康面で生活上の支障がある方は、アンケート用紙の記入やポスト投函が困難で提出に至らなかった事例も少なくないと想定される。

ii 健康診断の受診 【関連設問：問 3～9】

回答状況

過去 2 年以内に健康診断を受けている約 7 割の方のうち大半が、毎年受診していた。

また、受診している方の 9 割近くが、病気の早期発見等を目的に検査結果を活用していた。

一方で健康診断を受診していない 3 割の方は、その理由として自分の予定と合わなかった、必要性を感じないなどの回答がそれぞれ 4 分の 1 未満に分かれ、典型的な未受診の理由は存在しないようであった。なお、受診していない理由のその他の項目では、持病の通院で検査を受けていると回答する方が多く見られた。

傾向・考察

明確な目的で定期的に健康診断を受けている方と、受けることには消極的な方とにおける、健康診断への考えの隔たりが大きい。また、受診していない方は特別な理由があるというよりは、健康診断の意義はある程度理解しながらも、持病で必要な検査以外は進んで受けようとしないう傾向が、医療機関受診状況の回答と合わせて顕著に感じられた。

健康診断やがん検診、特に後述の特定健診では、持病の他に生活習慣等に起因して重症化しかねない別の疾病を発見できる場合があることから、市や国保としては健診の重要性を、特に未受診者へ重点的に啓発していく必要がある。

II 国保の保健事業のあり方

i 特定健診の料金設定 【関連設問：問 11,16】

回答状況

特定健診の料金は課税・非課税ともに妥当と考えている方が過半数を上回っているが、判断できないと回答した方が2割弱いるほか、課税世帯も0円にすべきと回答した方も一定程度、存在した。

特定健診の受診率や利便性向上のための設問では、受診日時の拡大や延長に続いて、自己負担額を下げるという回答が多く2割に達している。

傾向・考察

今回の調査では、料金が概ね妥当とみなされているようであるが、回答者には過去2年以内に健康診断を受診している方の割合が多いことから、健康診断を受診していない方が料金設定をどのように考えているか、受診率に影響しているかどうかは判断できかねるものであった。なお、今回の回答においては健康診断の受診の有無で、料金への見解が大きく異なっているようには見えなかった。

ただし、受診率等の向上のためには自己負担額を下げるという回答が、集団健診の実施回数を増やすことなどよりも多くなっている点をふまえると、課税世帯の料金の引下げが特定健診の動機づけになる可能性は否定できず、検討の余地がある。

ii 特定健診情報提供事業 【関連設問：問 10,13】

回答状況

特定健診を全く知らない方は1割にも満たなかったが、特定健診の受診に代えることができる特定健診情報提供事業の利用に関する設問では、特定健診を受けると明言した方は、3割にとどまっている。また、3割弱の方が特定健診情報提供事業の利用について前向きであり、利用したくない・持病の検査だけで十分と回答した方も2割以上いることがわかった。

傾向・考察

特定健診の制度は一定の理解を得ていても、みなし健診と呼ばれる情報提供事業については、なじみが薄いようである。市国保としては特定健診を受けていただくのはもちろんのこと、通院中で特定健診を受診する予定のない方には本事業の利用を通じて、生活習慣病等の抑制に努めていただきたいところである。

情報提供事業の利用意向と実績を比較すると、回答者の中にはこれまで本事業を知らなかったが、通院の機会にまとめて受けられるならと興味を示してくださった方が少なからず含まれていると考えられるため、本市では従来から実施している事業であるが、今後の利用拡大に向けて周知方法の工夫や医療機関への協力要請等、希望者にわかりやすく、利用を促すための改善を図る必要がある。

iii 特定保健指導ほか 【関連設問：問 12,14～15】

回答状況

保健事業に対して気が重い、関わらないでほしいなどの否定的なイメージを有している方は、さほど多くなかった。しかし、その他の回答には否定しないまでも期待していない意見が多く見られた。

また、特定健診の結果から生活習慣病の危険があるとして特定保健指導の対象となった方は、そもそもあまり多くないものの、半数が指導を受けた反面、自分で解決しようと指導を受けなかった方が4分の1ほどいて、特定健診や保健指導が生活習慣を考えるきっかけになっても、実際にどのように対処するかは個人差が大きい様子であった。

傾向・考察

保健事業全般に関して悪い印象があるわけでないことはわかったが、期待が薄かったり参加が難しい立場の方がいて、事業の成果が出にくい要因の一部になっていると考えられる。

市国保としては、さまざまな手法を組み合わせる日頃から住民ニーズに対応する取り組みが必要であると、改めて認識したところである。

III 石狩市国民健康保険第二期データヘルス計画の中間評価

i こころの健康づくりに関する情報の認識者の増加 【関連設問：問 19】

回答状況

メンタルヘルスの相談機関の認知度として、心の問題の相談機関等を知っている方の合計は 46%と過半数を下回っており、また、市国保からの心の健康に関するリーフレット送付を知らないと回答した方が 3 分の 1 を超えていた。

傾向・考察

メンタル疾患の予防、こころの健康維持を目的に、第二期データヘルス計画では令和 2 年までに「こころの相談機関などの情報を知っている者の割合を 50%以上にする」ことを目標として掲げていたものであるが、今回の回答結果では達成には至らなかった。しかしながら、平成 26 年度調査結果の 37.7%と比べて 8%以上の増加につながったことは、啓発に一定の効果があったと推察できるため、目標達成を目指して今後も周知が必要であると考ええる。なお、他の事業の案内を同封して配布していることも影響してか、リーフレットの送付に気付かない場合も少なくないとわかったので、配布方法や広報資材の選択を検討する必要がある。

ii ジェネリック医薬品の普及率向上 【関連設問：問 21】

回答状況

ジェネリック医薬品は、積極的に利用されている方がほぼ 4 分の 3 に上っているが、その一方で、利用を慎重に考えている方や先発医薬品を利用されている方の人数を合わせると 1 割以上に及んでおり、知らない・わからないと回答した方はほとんど見られなかった。

傾向・考察

ジェネリック医薬品への切替えを促し、薬剤費の削減を目的として、第二期データヘルス計画では令和 2 年までの目標を「ジェネリック医薬品普及率 80%以上」と掲げていたところであるが、市国保の保有データでは令和元年 11 月診療分において 80%を超え、その後の平均においても目標を達成していること、知らない・わからないと回答した方がわずかであったことからジェネリック医薬品の知識が多くの被保険者に浸透し、その利用に繋がったと実績を評価できる。

目標の達成後も従来と同様の方法で利用勧奨を実施していくかどうかは、費用対効果の面からも検討すべき内容であるが、今後もジェネリック医薬品の利用状況を後退させることなく、財政効果を継続させていくための方策を企画したい。

ご協力いただいた皆さまへ

今回、市内に住所を有する国民健康保険の被保険者の皆さまから2,500名を抽出させていただき、「健康意識等に関するアンケート調査」へのご協力をお願いしたところ、1,305件（52.2%）の回答を得られました。この件数は本市の国保被保険者全体の1割に相当し、基本事項の集計結果では回答者の年齢等に偏りがあるようにも見えますが、おおよそ現在の国保の被保険者の構成を反映した形となっております。

集計作業を通じて、ご回答いただいた方の多くが意識的に健康づくりに取り組んでいらっしゃることも、また、市国保で実施している事業がどれだけ認知されているかなど、今後の事業への要望等が確認できました。

被保険者の皆さまの健康の保持増進に努めることは国民健康保険の運営目標のひとつであり、安定した健康保険制度の存続のための重要課題であります。アンケートの結果に基づき被保険者の皆さまの需要を反映し、特定健診その他の保健事業の実施に生かしてまいります。

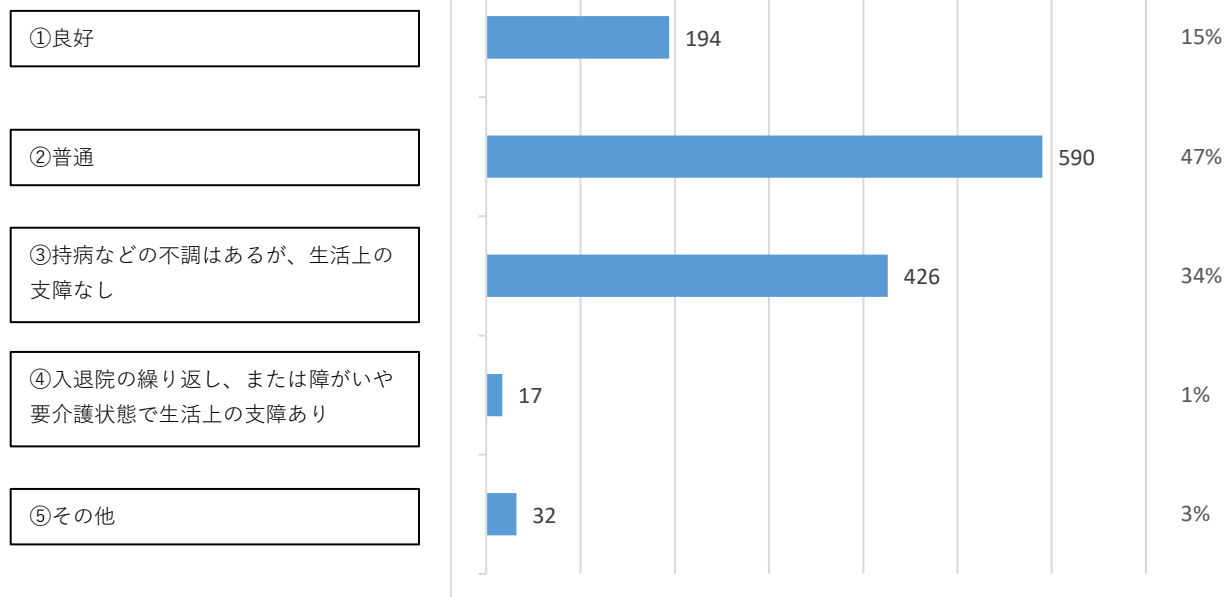
最後になりますが、アンケート調査にご協力いただいた皆さまに、心から感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

石狩市保健福祉部国民健康保険課

(3) 各設問の集計

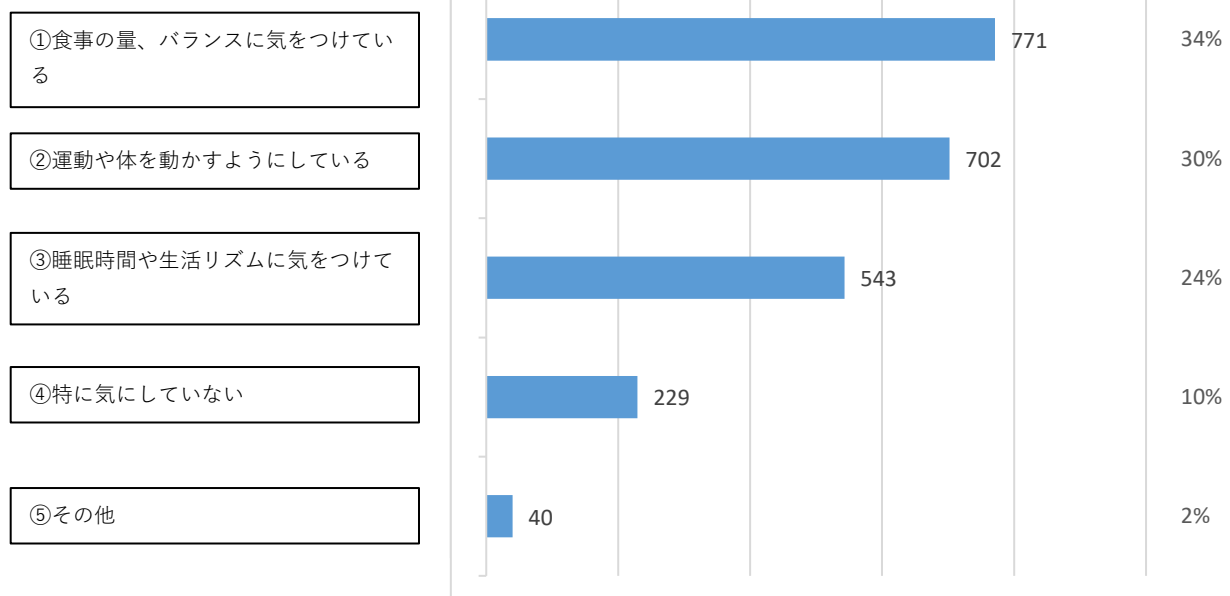
問1 最近の体調や健康状態はいかがですか。ご自身の状況をお答えください。

N=1,259 / SA



問2 日頃から健康のために心がけたり、習慣にしていることはありますか。

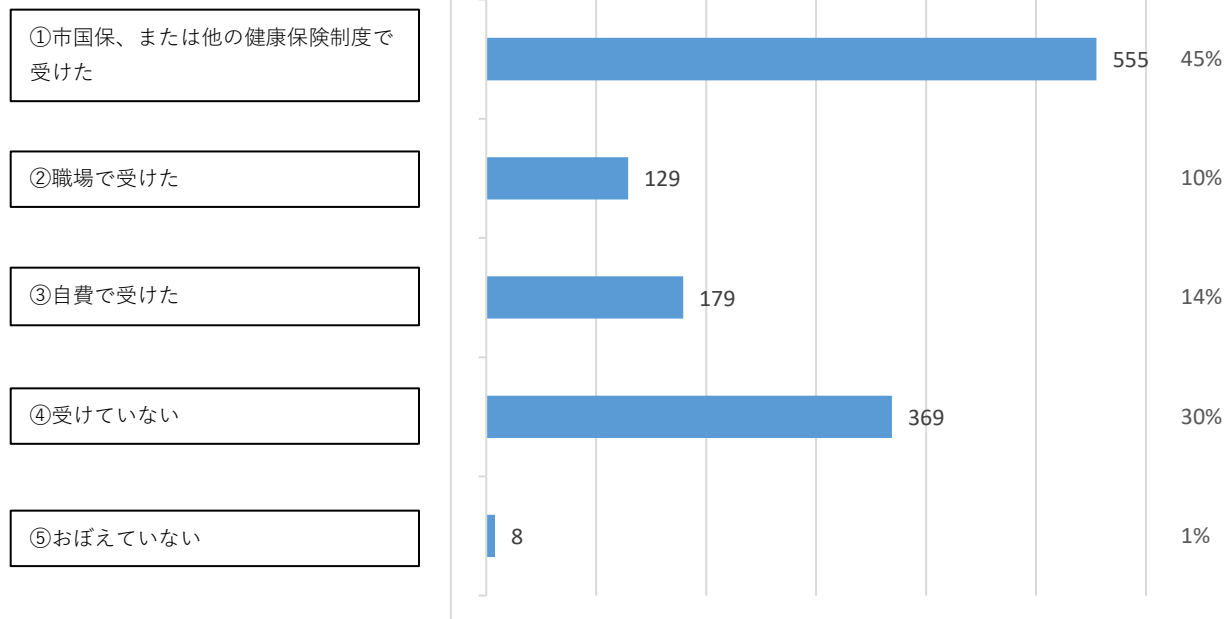
N=2,285 / MA



問3 過去2年以内に健康診断を受けましたか。

※持病の定期検査を除く。

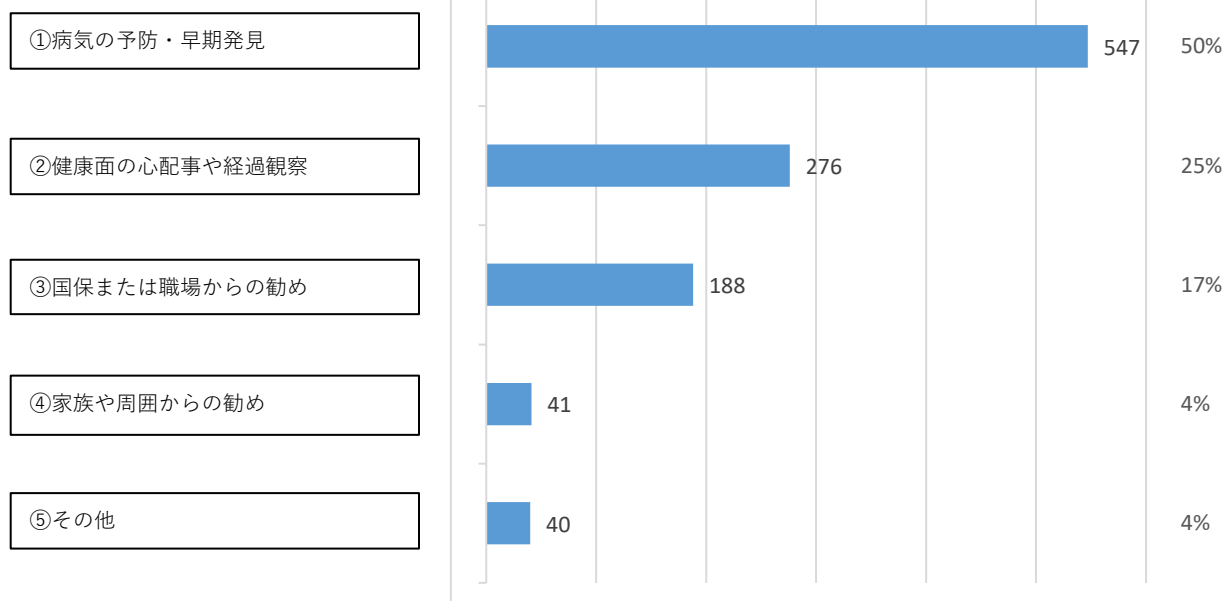
N=1,240 / SA



問4 受診の理由、きっかけを教えてください。

※問3で①～③と回答した方のみ回答

N=1,092 / MA

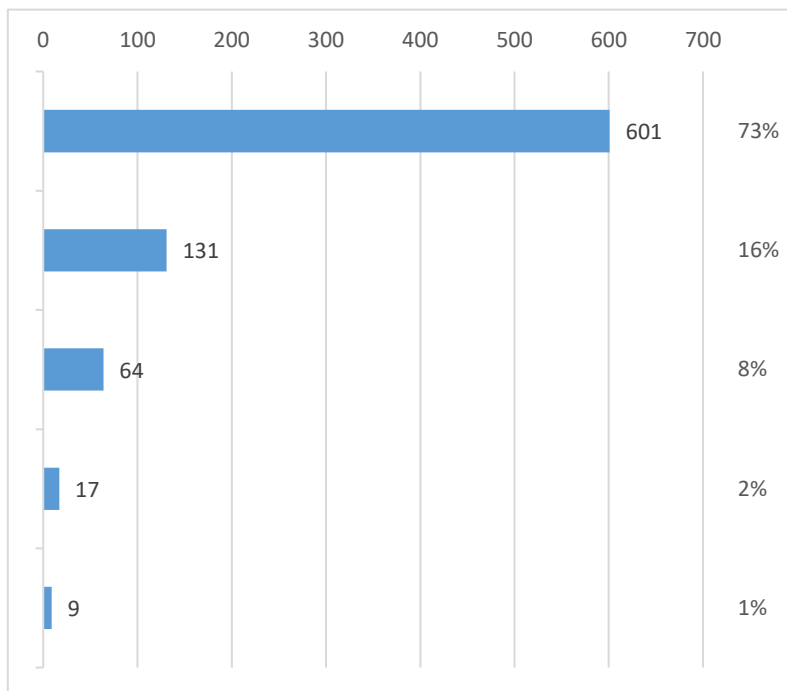


問5 どのくらいの頻度、間隔で受診していますか。

※問3で①～③と回答した方のみ回答

N=822 / SA

- ①毎年
- ②2年に1回
- ③数年ぶり
- ④初めて
- ⑤前回は5年以上前

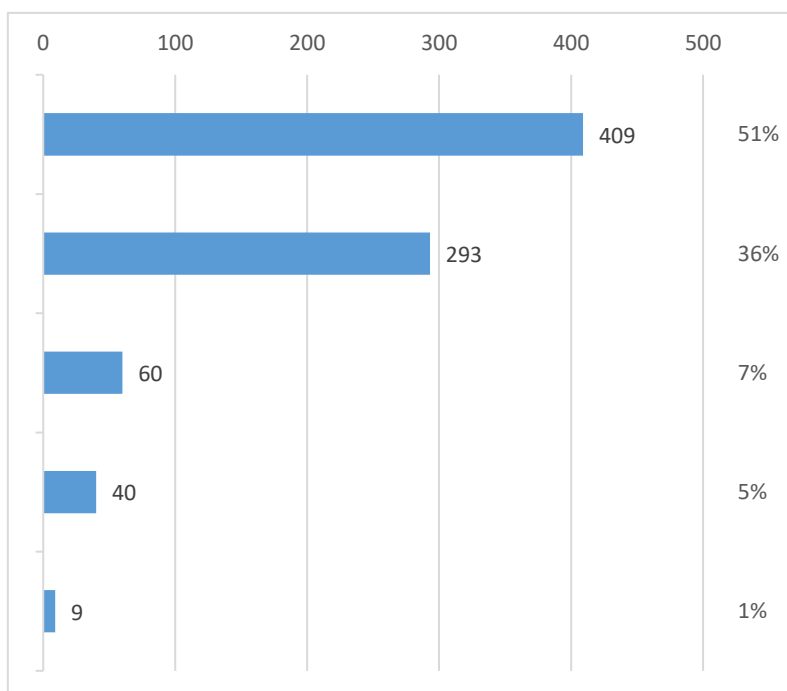


問6 検査結果や医師からの指摘事項にはどのくらい留意していますか。ご自身の状況や考えをお答えください。

※問3で①～③と回答した方のみ回答

N=811 / SA

- ①精密検査などの指示は受けていないが、検査値には注意している
- ②精密検査などの指示に従い、再検査などの受診をしている
- ③精密検査などの指示は受けていないため、結果はさほど気にしていない
- ④精密検査などの指示はあったが、再検査などの受診はしていない
- ⑤その他



問7 受診できない、または受診しようと思わない理由があれば教えてください。

※問3で④～⑤と回答した方のみ回答

N=460 / MA

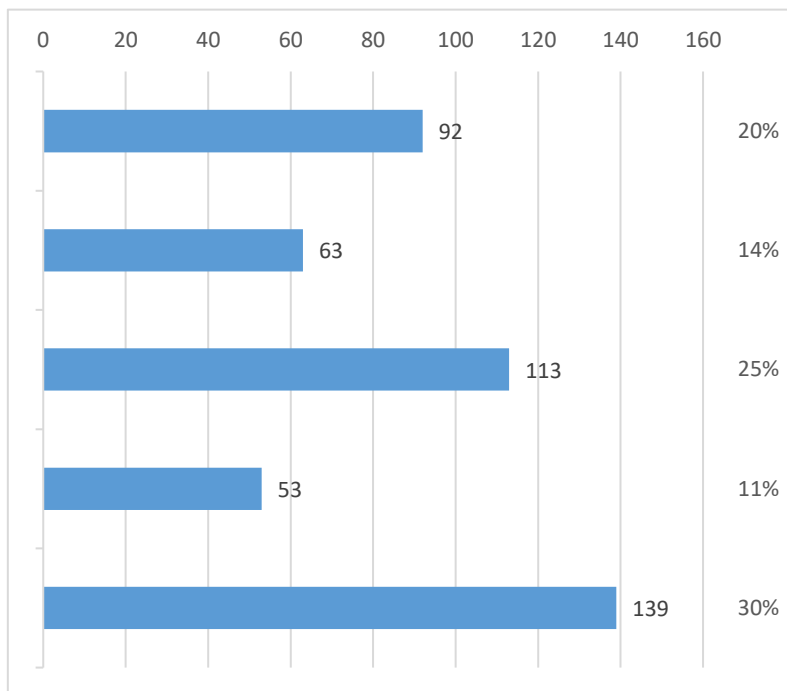
①時間がない・自分の予定と合わない

②費用をかけたくない・高い

③必要性を感じない・面倒である

④検査に抵抗がある・結果等が不安

⑤その他



問8 最近の医療機関受診について、ご自身の状況をお答えください。

※問3で④～⑤と回答した方のみ回答

N=347 / SA

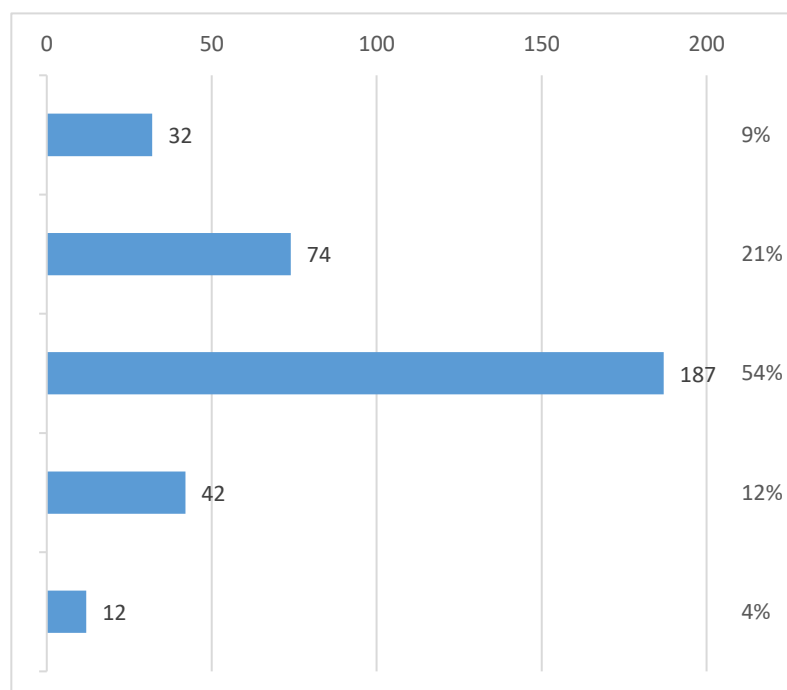
①気になる自覚症状等がないため受診していない

②特に不安はないが、何かあれば病院へ行く

③定期的な受診や服薬をしている

④よほどのことがないかぎり病院へは行かない

⑤その他

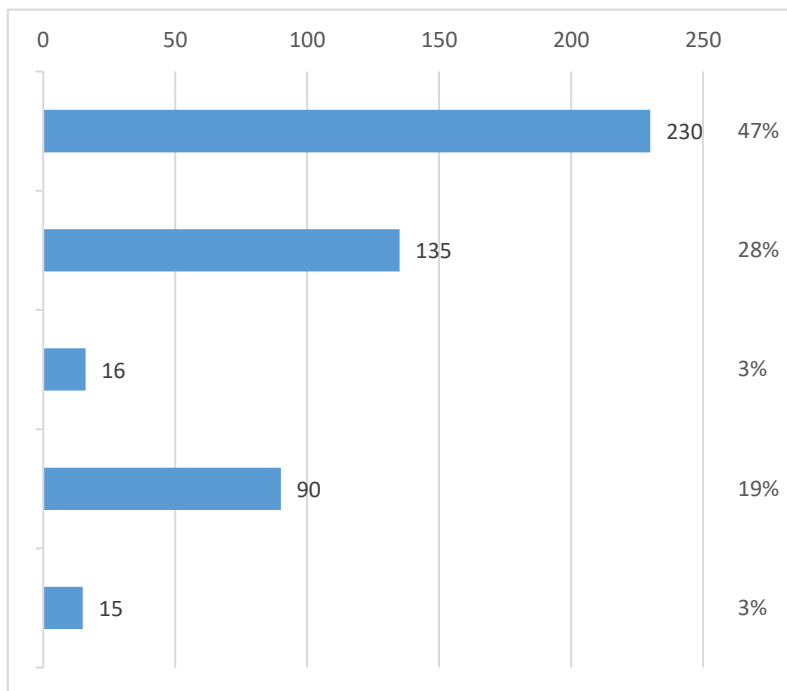


問9 健康診断に関するイメージや印象について、ご自身の考えをお答えください。

※問3で④～⑤と回答した方のみ回答

N=486 / MA

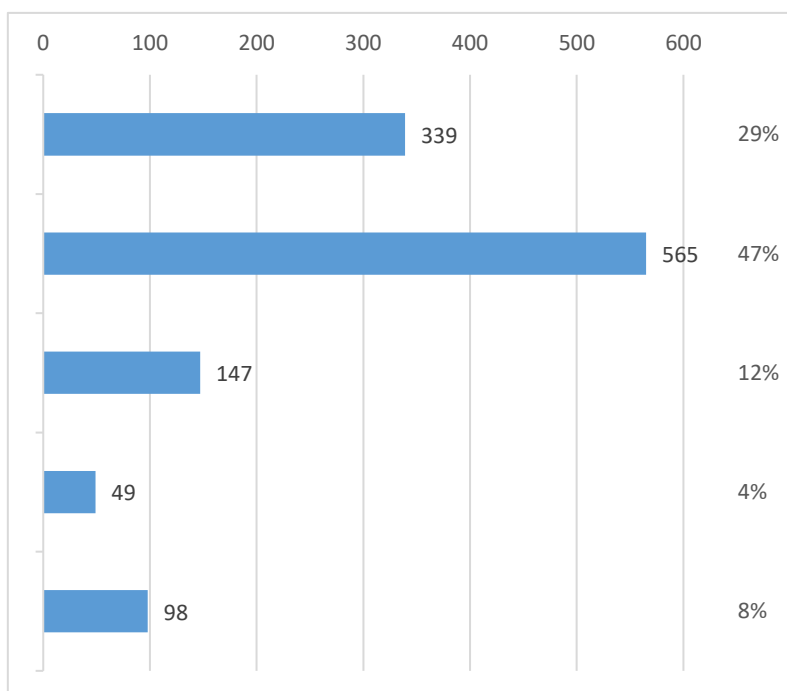
- ①病気の早期発見や健康管理に役立つ
- ②体調の変化に気づける
- ③結果の見方や用語が難しく、日常生活にいかせない
- ④専門医で精密検査を受けなければ詳細がわからない
- ⑤その他



問10 健康保険が40歳以上の方を対象に、生活習慣病、特にメタボリックシンドロームの予防と改善に着目した「特定健康診査」を実施していることを知っていますか。

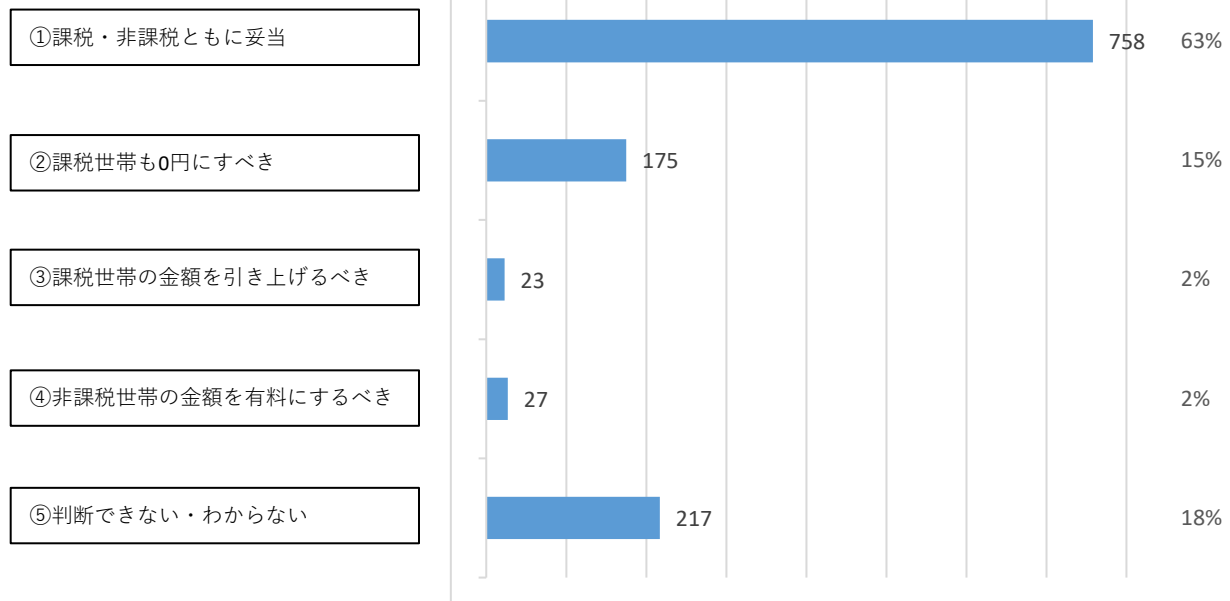
N=1,198 / SA

- ①名称を知っており、内容もよく知っている
- ②名称を知っており、内容もおおよそ知っている
- ③名称を知っており、内容は知らない
- ④名称を知らないが、内容はおおよそ知っている
- ⑤名称も内容も知らない



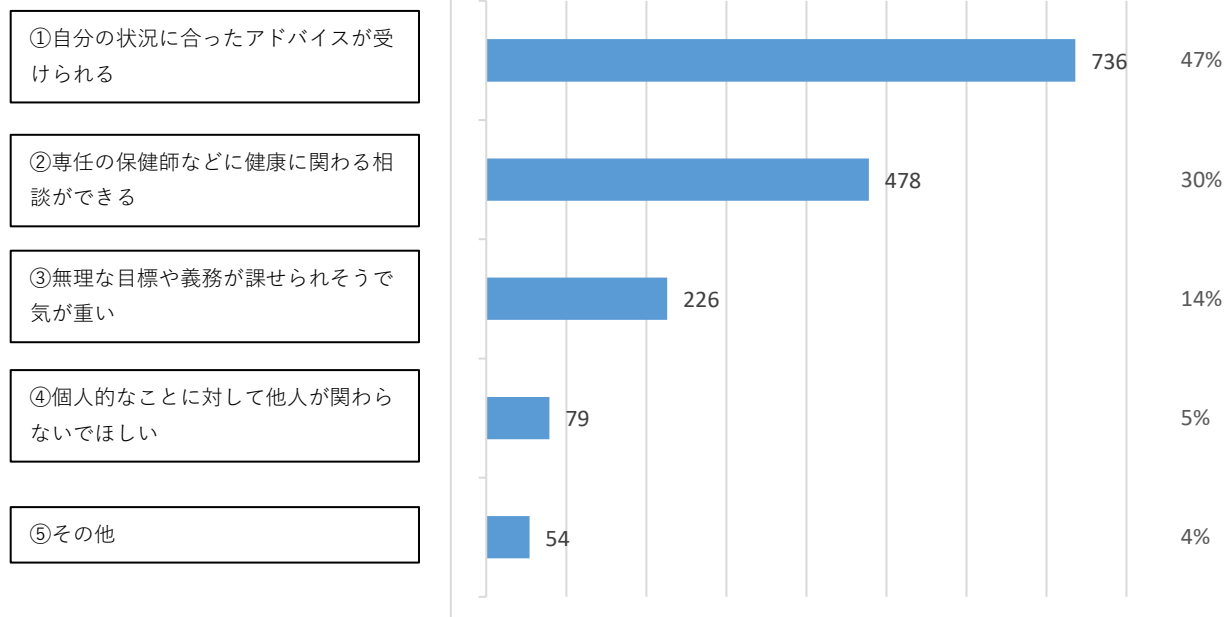
問11 市国保では特定健診の自己負担額を住民税課税世帯を600円、非課税世帯を0円として取扱いしています。この料金設定について、ご自身の考えをお選びください。

N=1,200 / SA



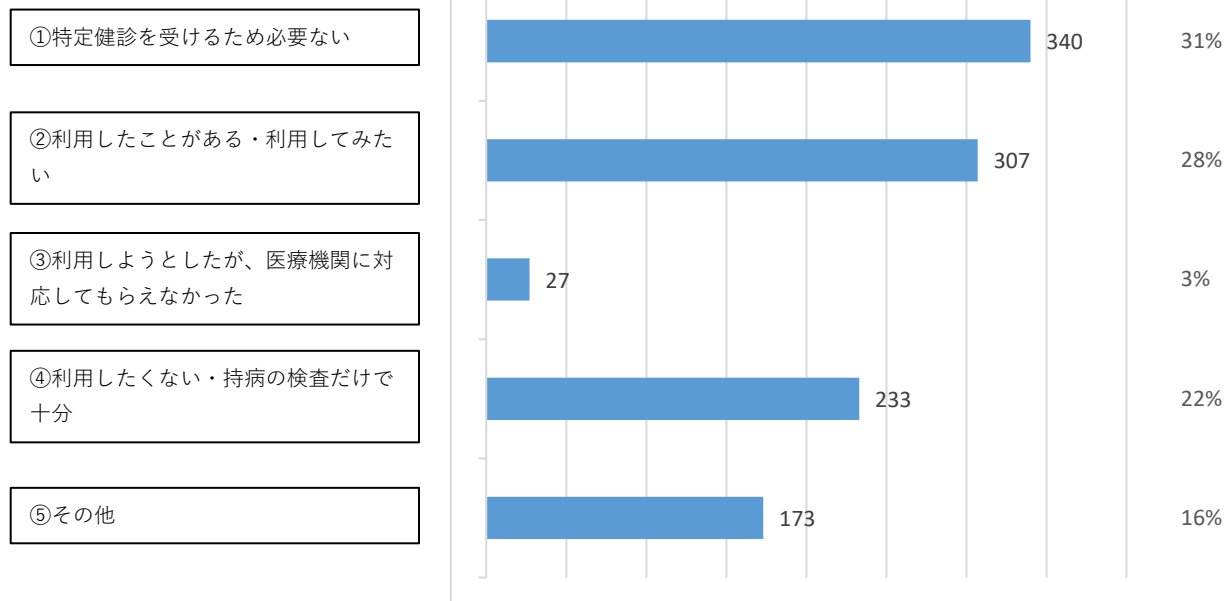
問12 保健指導や健康相談、健康支援という言葉全般から、期待する内容やイメージをお答えください。

N=1,573 / MA



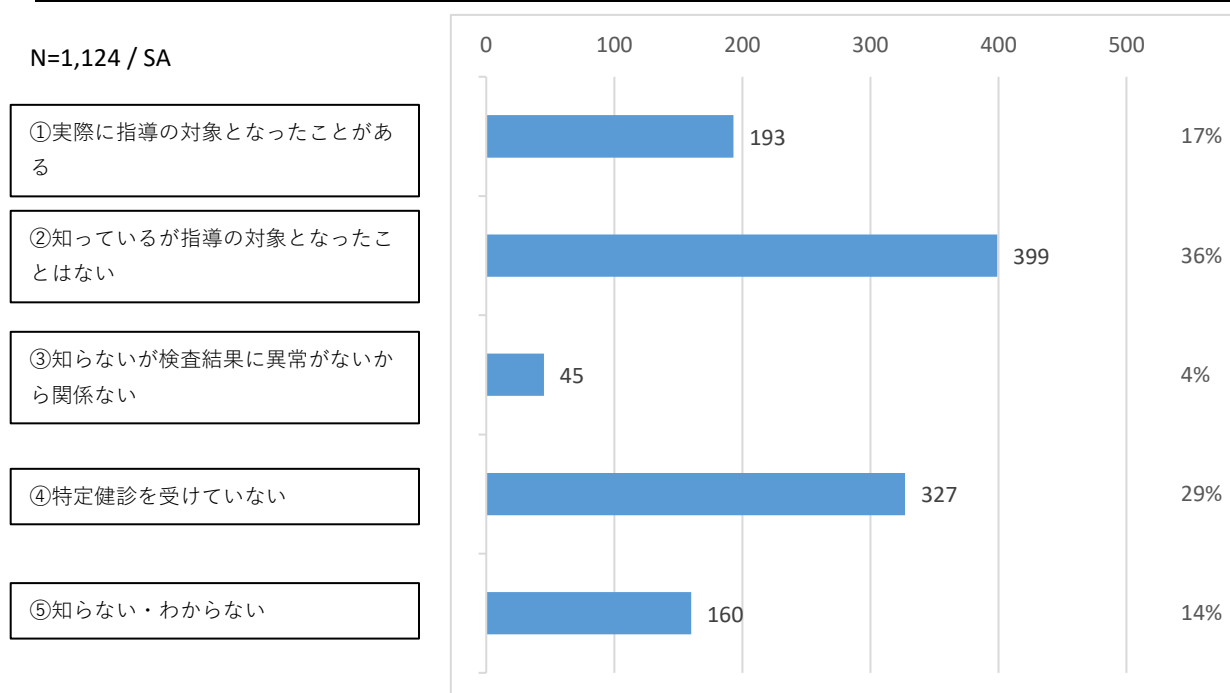
問13 市国保では、かかりつけの医療機関における持病の検査結果を利用して、「特定健診」の受診に代えることができる『特定健診情報提供事業』を実施しております。持病以外の生活習慣病の可能性を調べるものですが、ご自身の状況や考えをお答えください。 ※40歳以上の方のみ回答

N=1,080 / SA



問14 健康保険では40歳以上の方に「特定健診」の結果から生活習慣病の危険があり、生活習慣の改善が必要と考えられる方には「特定保健指導」を案内しておりますが、そのことを知っていますか。また、ご自身の状況をお答えください。 ※40歳以上の方のみ回答

N=1,124 / SA



問15 そのときに指導を受けたかどうかなど、ご自身の状況をお答えください。

※問14で①と回答した方のみ回答

N=176 / SA

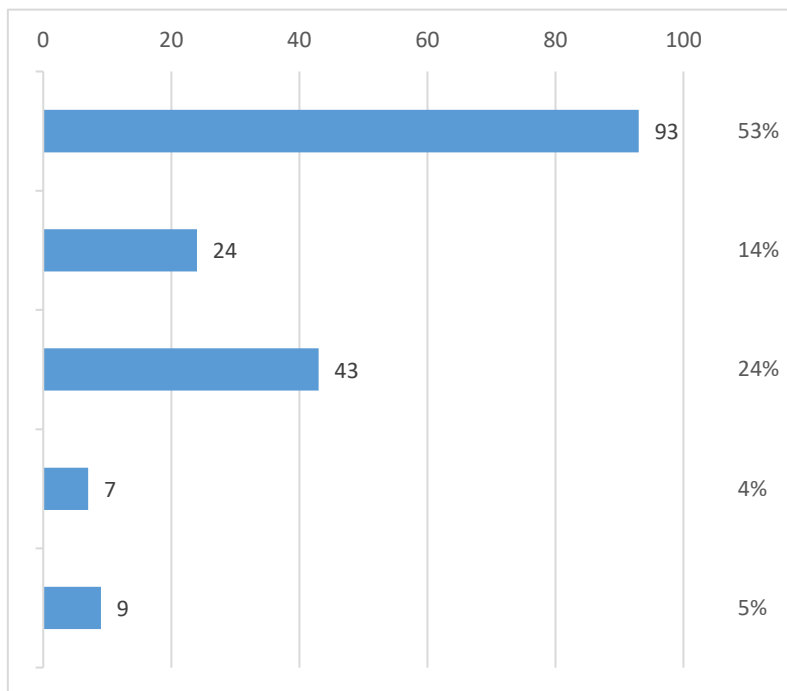
①危機意識を感じて指導を受けた

②指導を受けたかったが、時間や場所の条件が合わなかった

③自分で解決しようと、指導は受けなかった

④生活習慣を変えるつもりがなく、指導は受けなかった

⑤おぼえていない・わからない



問16 「特定健診」の受診率や利便性を向上させるために、どのような取組みが必要だと思いますか。

N=1,492 / MA

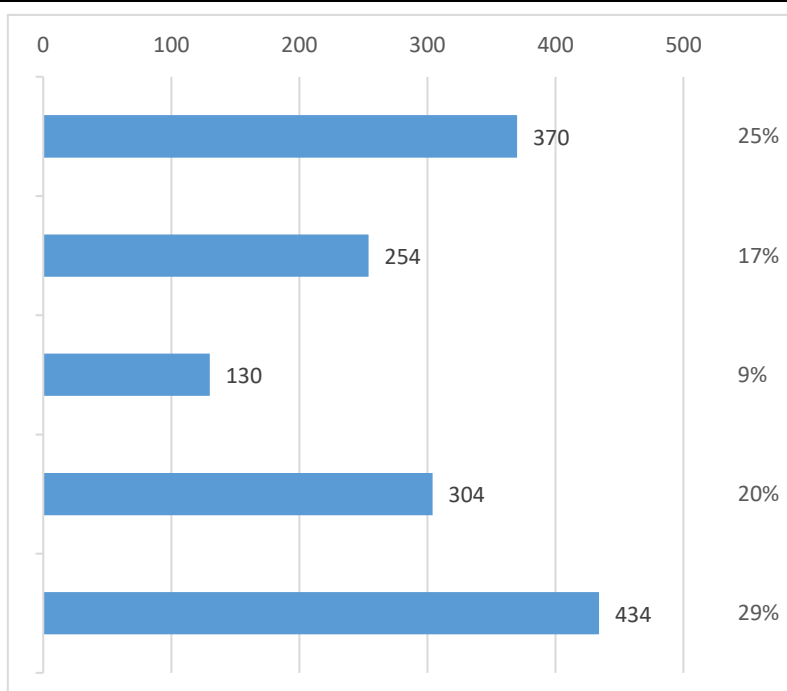
①受診日時の拡大や延長（土日・夜間等）

②集団健診の実施回数を増やす

③予約や結果通知に電子メールやインターネットの機能を活用

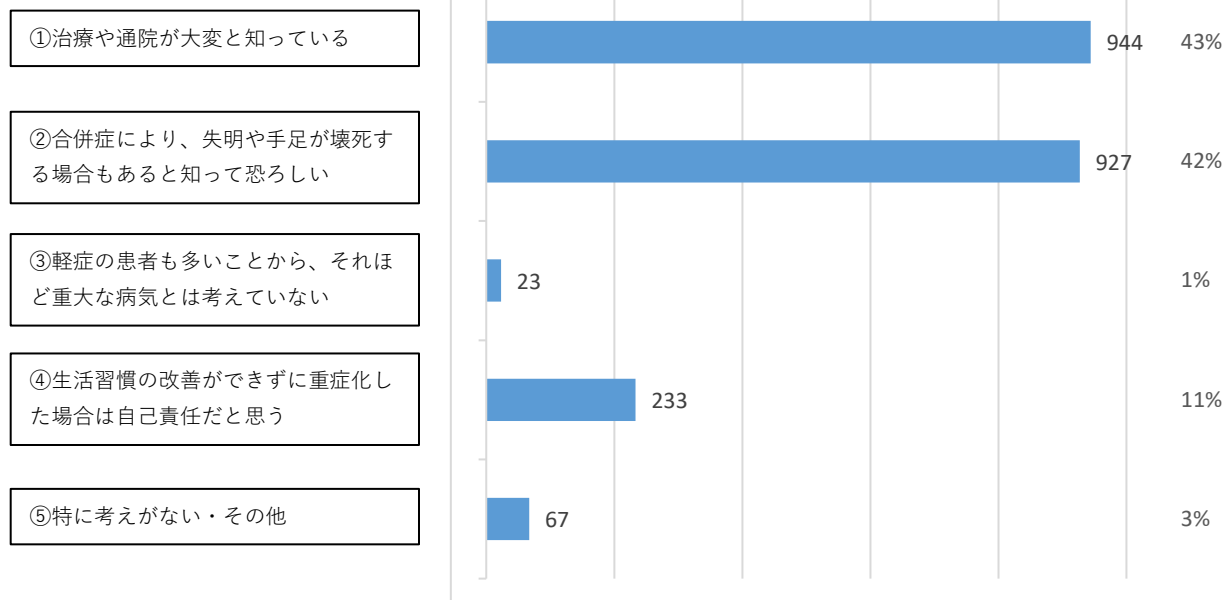
④自己負担額を下げる

⑤特になし・その他



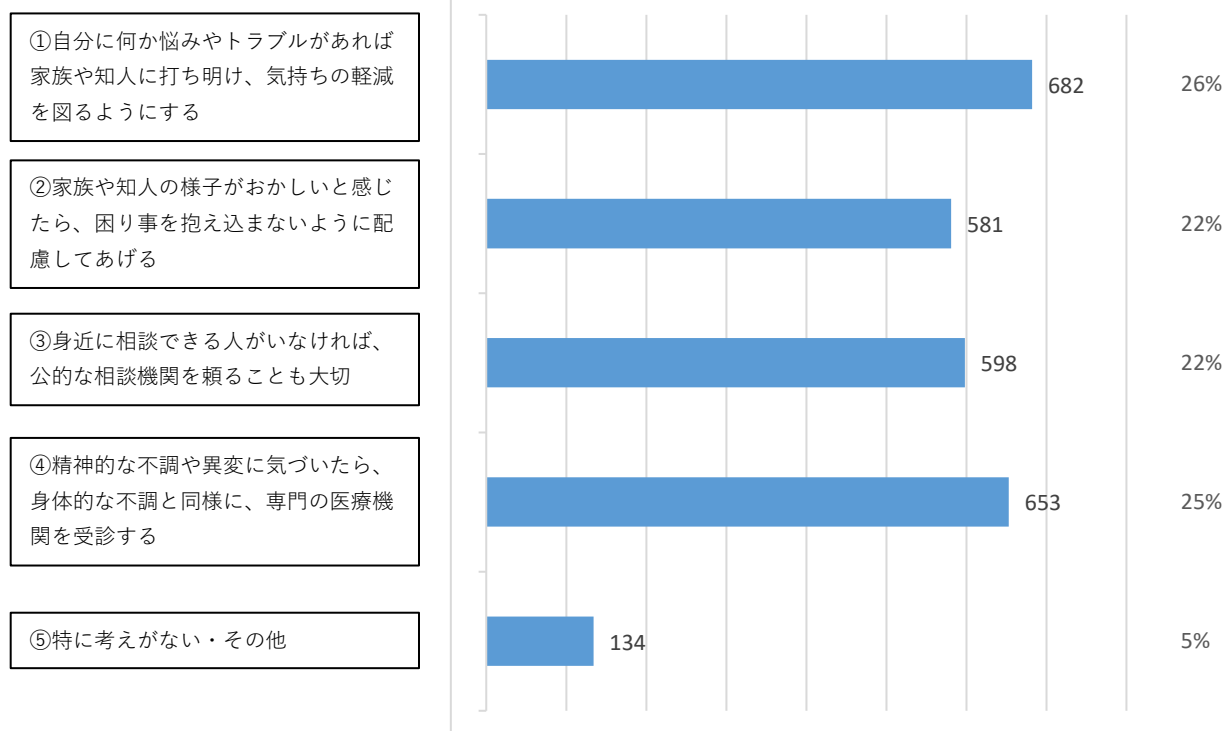
問17 昨今、糖尿病の悪化により人工透析が必要となる患者が増加しており、全国的に重症化予防への取組みが強化されています。市国保でも透析治療を未然に防止する目的からも重症化予防事業を進めていますが、糖尿病についてご自身の認識をお答えください。

N=2,194 / MA



問18 近年、うつ病などこころの病気の患者が多くなっています。心の健康に関して、不調や異変を早期に発見して重症化の予防や治療に結び付けるために、効果的な対策はどのようなことだと思いますか。ご自身の認識や考えをお答えください。

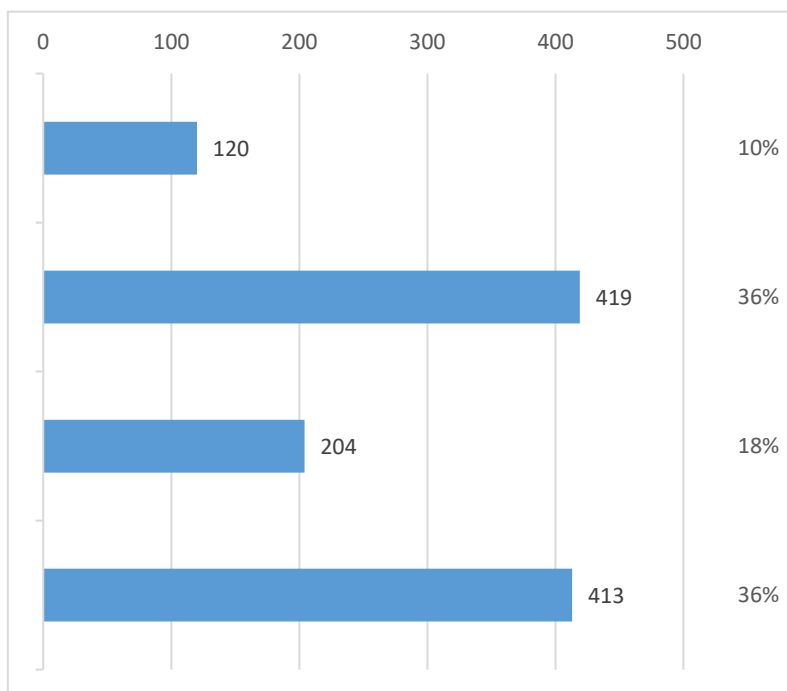
N=2,648 / MA



問19 市国保から毎年夏頃、他の事業のお知らせと併せて「心の健康」に関するリーフレットを送付して、症状の紹介や主な相談機関を周知していますが、この相談機関について、ご自身の認識状況をお答えください。

N=1,156 / SA

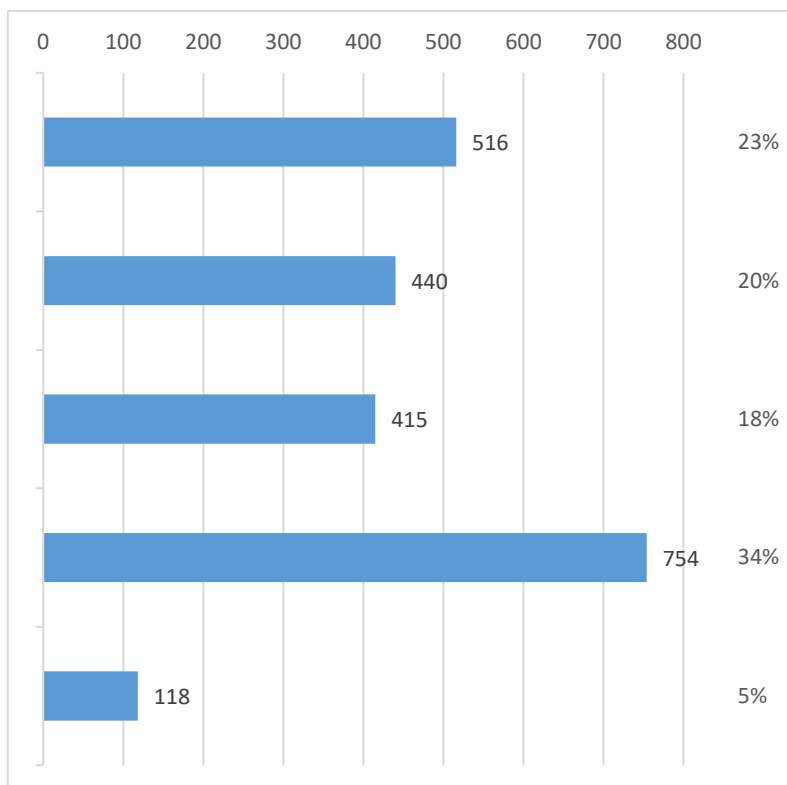
- ①具体的な相談機関について知っている
- ②公的な相談機関があることは知っているが、名称や連絡先は知らない
- ③公的な相談機関があることは知らないが、リーフレットが送付されていることは知っている
- ④公的な相談機関があることは知らないし、リーフレットが送付されていることも知らない



問20 高齢化や疾病の多様化などで増加し続ける医療費の抑制のために、市国保では従来からパンフレットなどで参考情報をお知らせしておりますが、賛同できるものを教えてください。

N=2,243 / MA

- ①同じような症状のために複数の医療機関を重複して受診しない
- ②時間外や休日は割増料金が発生するので、緊急でない時は安易に受診しない
- ③病気やけがで救急車を呼ぶか迷ったときは、救急安心センターへ電話相談する
- ④かかりつけの病院と薬局を決めて、診察や薬の処方を受ける
- ⑤特に考えがない・その他



問21 ジェネリック医薬品が、最初に作られた先発医薬品と比較して、同じ成分・効能でありながら安価であることを知っていますか。また、ジェネリック医薬品の利用状況や医薬品に対する考えをお答えください。

N=1,302 / MA

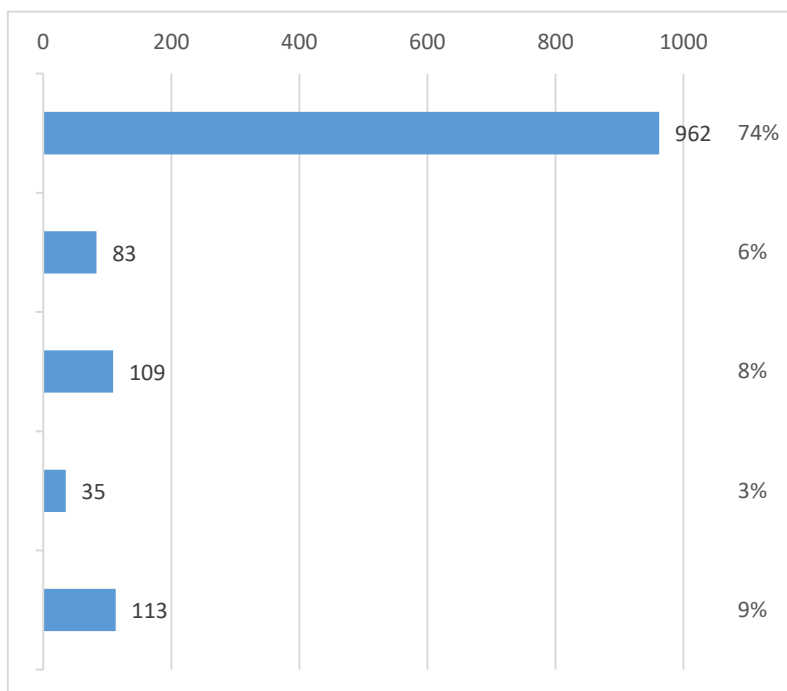
①知っている、積極的に利用している

②知っているが、利用できない（自分の薬にはジェネリック医薬品が無いなど）

③知っているが、利用したくない（自分の体質に合うかわからないなど）

④知らない・わからない

⑤特に考えがない・その他



問22 市国保からの各種お知らせや健診関係の情報等は、どの媒体や手段が便利ですか。

N=1,795 / MA

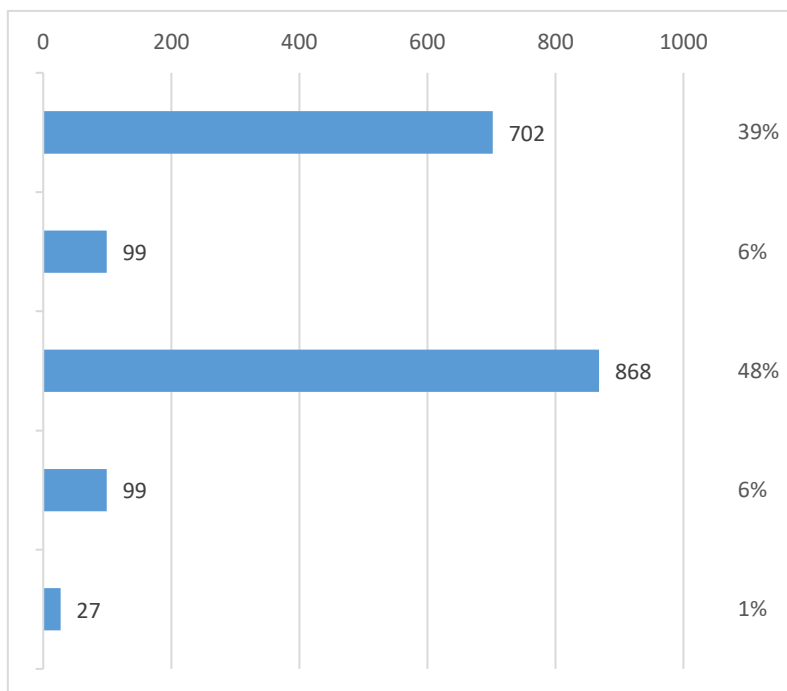
①広報または折り込みチラシ

②ホームページ

③個人宛て郵便物

④電子メール・SNS等

⑤その他



(4) 各設問の「その他（記述回答）」

問1 最近の体調や健康状態はいかがですか。ご自身の状況をお答えください。

- ・年を取るとともに体が疲れるが何をしても治る迄はいかないのが現状。これは不調といえるのか考え込むことが多くなった
- ・入院・手術の予定
- ・一級障がい認定うけている
- ・精神障害者であり心臓も先天的に悪い
- ・事故で入院中
- ・整形に通院、腰で重いものが持てないなど生活に支障あり

問2 日頃から健康のために心がけたり、習慣にしていることはありますか。

- ・仕事をする事
- ・毎日朝ランニング10Km（約1時間）
- ・煙草を2年前くらいからやめた
- ・気にしているが、自分では何をしてよいのかわからない
- ・気にかけているが続かない
- ・気にしてはいるが、余裕がない
- ・ほとんど3食食べない日が多いので食べる努力をしている
- ・訪問看護を受けてアドバイスを受けている

問4 受診の理由、きっかけを教えてください。

- ・ 石狩市の人間ドックに応募して当選したので受けた
- ・ 定期通院で受診
- ・ 毎年定期的にかかりつけ医院で健康診断をしてもらっている
- ・ 職場の定期健診
- ・ 妊婦健診
- ・ 病院の先生の勧めで
- ・ 職場での規則のため
- ・ 大腸ポリープでの経過観察の為

問6 検査結果や医師からの指摘事項にはどのくらい留意していますか。ご自身の状況や考えをお答えください。

- ・ 毎回病院も受診している
- ・ 指示があり再受診したが検査は見送った
- ・ 主治医に相談している
- ・ コロナが落ち着いたら再検査に行こうと思ってる
- ・ 定期的に受診し主治医に任せている。1年に4回ぐらい血液検査受けてます

問7 受診できない、または受診しようと思わない理由があれば教えてください。

- ・ 管理指導として後が煩わしい
- ・ 放っていてもいいようなことで、わざわざ病名をつけて薬を出されると夫に言われたから
- ・ 持病の定期検査を受けているため
- ・ 主治医の医院で半年に1回検査を受けている
- ・ 詳細な部分までは無理と思っているから
- ・ 毎日、体重、血圧記録、定期受診で年に1回血液検査で追加して癌の診断も受けている
- ・ 積極的に病気を見つけようとは思わないから
- ・ 病院へ行って他の病気に移りたくない
- ・ 去年は予定が合わず、今年はコロナで病院へ行くのが心配

問8 最近の医療機関受診について、ご自身の状況をお答えください。

- ・ 入院中
- ・ 不妊治療のため通院している
- ・ 定期的にエコー・胃カメラ・CT・採血など受診
- ・ 今はコロナの心配があるので、受診についても控えてる
- ・ 長期入院になりそう
- ・ コロナの影響で行けずほぼあきらめる

問9 健康診断に関するイメージや印象について、ご自身の考えをお答えください。

- ・結果によっては数値に縛られ後々通院を余儀なくされることもある。10種類もの投薬を受けた親達をみていると、いささか疑問に思う
- ・検査結果に一喜一憂したくない
- ・健康診断は過信するものではない
- ・高齢者には不要、子供、若年者には絶対必要
- ・血液検査によりある程度の問題はわかると思うけど、それで病院に行こうとは思わない
- ・ちゃんとみてくれているとは思っていない

問12 保健指導や健康相談、健康支援という言葉全般から、期待する内容やイメージをお答えください。

- ・この種の行政サービスには、形式的なイメージがある
- ・あくまでもアドバイスの話をされるだけなので、あまり効果を感じない
- ・アドバイスを受けられると思うが、十分相談ができるとは思えない
- ・あまり役立つとは思っていない。何かあったら精密検査をします
- ・十人十色であるから相手の身になって考えてもらいたい
- ・予防医学的イメージ。実践的医療としてはマイナーな感じでも本当は重要な分野
- ・ある程度の強制力が必要であると考えています
- ・時間にゆとりがなくアドバイスを受けづらい
- ・必要性を感じない
- ・指導を受けてもその通りに出来る自信がない
- ・車がない為りんくるや市役所に出向くのは大変な為相談できず
- ・あまり期待出来ない。当たり障りのない事をいそう

問13 市国保では、かかりつけの医療機関における持病の検査結果を利用して、「特定健診」の受診に代えることができる『特定健診情報提供事業』を実施しております。持病以外の生活習慣病の可能性を調べるものですが、ご自身の状況や考えをお答えください。

- ・ 内容がよくわからない
- ・ 「対応してください」と医療機関に言い出しづらい
- ・ 利用しようとしたところ、別の検査にされて二度も血液検査を受ける事になったので、病院にそのあたりをちゃんとしてもらいたい
- ・ 自費によるドックで十分
- ・ かかりつけの医師から勧められると良いのでは
- ・ 特定健診情報提供事業を知らなかった

問16 「特定健診」の受診率や利便性を向上させるために、どのような取り組みが必要だと思いますか。

- ・ 費用の医療費控除希望
- ・ 必要性を訴える。受診率が上がった結果、受診した人がどう変わったか及び石狩市の医療費がどのように変わったかも知りたい
- ・ 受診病院の拡大
- ・ かかりつけの病院で受診できるようになると良い
- ・ ポイントカードや野菜、特産品がもらえるなどの付加価値をもうける
- ・ 広報に「忘れてませんか!？」と目立つ様に載せてくれるとありがたい
- ・ 広報を活用して健康や病気に関する諸情報をさらに周知していただきたい
- ・ 札幌の病院を増やす
- ・ 健診会場への交通費全額支給、受診者への褒賞
- ・ 市の人間ドック、脳検診並みの内容にする
- ・ 検査項目の追加

問17 昨今、糖尿病の悪化により人工透析が必要となる患者が増加しており、全国的に重症化予防への取組みが強化されています。市国保でも透析治療を未然に防止する目的からも重症化予防事業を進めていますが、糖尿病についてご自身の認識をお答えください。

- ・ 知識が不足しているので、答えられない
- ・ 生活習慣だけではどうにもならない遺伝的なこともある
- ・ 糖尿病は一般的に「恥ずかしい」と思っている人が多い。なので治療が遅れるもっと普段からCM抗議など増やし、理解を求めなくてはならない。決して恐ろしいものではない。治すことができることを広める
- ・ 糖尿病にならぬために生活習慣を自らよくチェックする
- ・ I型とII型を同等に扱いしている人がいたり、「ぜいたく病」と思っている人が多く、腹立たしい
- ・ 糖尿病と人工透析の関係をもっと啓蒙する必要があると思います
- ・ 生活習慣病は自己管理不足

問18 近年、うつ病などこころの病気の患者が多くなっています。心の健康に関して、不調や異変を早期に発見して重症化の予防や治療に結び付けるために、効果的な対策はどのようなことだと思いますか。ご自身の認識や考えをお答えください。

- ・ むしろ身近な人間でない方が相談しやすいかもしれない
- ・ 精神科に当たり外れが激しいので、病院の選択が難しい
- ・ 石狩にはうつ専門の病院があるのか知りたい
- ・ 専門の医療機関がどこにあるのかわからない
- ・ 気が付いた時にはうつ病になっているので本人が心の健康について考えるきっかけ作りをしてほしかった
- ・ 様子がおかしいと感じても他人に踏み込むのは難しい
- ・ 知人や身内には相談しづらいので、もっと身近に無料で「コーヒー飲みに来たよ！」と思えるくらいの相談所をつくるべき
- ・ 自身経験があり、信用のできる年配の人に打ち明けて少しずつ解決した
- ・ 笑う機会が多い人は病気に縁遠いという話を聞いたことがあるので、公共施設等を利用し、笑顔になれ、リラックスできる催しを開催するのも効果的だと思います

問20 高齢化や疾病の多様化などで増加し続ける医療費抑制のために、市国保では従来からパンフレットなどで参考情報をお知らせしておりますが、賛同できるものを教えてください。

- ・ かかりつけ医というのがなかなか見つけられないので、症状により医院を変えているのが現状、総合診療医が少ない
- ・ #7119にかけたことがあるが繋がらなかった
- ・ 予防医療にさらに力を入れる
- ・ 医療機関の抑制努力
- ・ 運動習慣の対策強化
- ・ 賛同できるものがない
- ・ その時々状況により行動が変化することがあるので、すべてに対して賛同はできない

問21 ジェネリック医薬品が、最初に作られた先発医薬品と比較して、同じ成分・効能でありながら安価であることを知っていますか。また、ジェネリック医薬品の利用状況や医薬品に対する考えをお答えください。

- ・ 利用したが、自分には合わなかったことがある
- ・ ジェネリックを使わずに新しい高い薬を出したがる病院がある
- ・ 知っているが、薬の種類によって、ジェネリックで良いと思えるものとそうでないものがある。ジェネリックで良いと思える時は積極的にそちらにしたい
- ・ 以前はジェネリックを利用していましたが、今年から先発医薬品を選んでいます
- ・ 後発医薬品で問題が出ているものもあるので、詳しく情報を得ることが必要。本当は安くて効果が同じなら絶対にその方が国保や患者両方の為になると思います
- ・ 病院にお任せ
- ・ ジェネリックの場合多少不安なメーカーもある
- ・ ジェネリック医薬品は責任が持てないと医師に言われたことがある。安全を考えると迷いがある
- ・ 医師の処方してくれたもの使っている
- ・ 利用しているものもあるが、あまり利用したくない

問22 市国保からのお知らせや健診関係の情報等は、どの媒体や手段が便利ですか。

- ・ スマホならいい。パソコンは毎日開かない
- ・ 新しい媒体についていけないので今までの方法で良い
- ・ 町内会の回覧板
- ・ インターネットが使えない
- ・ 市内の病院リストはHPにあって良い。わかりやすく見やすく
- ・ テレビの照会等で、健康に良いその地方の工夫などがありますが、石狩も積極的に情報としてやってほしい

石狩市国民健康保険 健康意識等に関するアンケート調査

石狩市国保に

お聞かせください！！

15分ほどお時間をいただきます

アンケート調査協力をお願い

石狩市国民健康保険の加入者のうち2,500名を対象にアンケートを実施します。市国保で実施している保健事業（加入者の健康づくりに関する事業）の改善の参考とさせていただくため、ぜひご理解、ご協力をよろしくお願いします。

アンケート回答方法について

- ・各設問の該当する**回答番号に○を付けてください。**
- ・「※ 複数回答可」の記載がある項目については、該当する番号すべてに○を付けてください。
- ・回答に該当する番号が無く、その他（ ）がある場合は、カッコ内に回答内容をご記入ください。
- ・同封の返信用封筒で**令和2年10月2日まで**に投函をお願いします。（切手は不要です）

お問い合わせ先 石狩市役所保健福祉部 国民健康保険課 給付担当 Tel 0133 - 72 - 3633

基本事項

【性別】 ① 男 ② 女

【年齢】 ① 70歳以上 ② 60歳～69歳 ③ 50歳～59歳 ④ 40歳～49歳
⑤ 30歳～39歳 ⑥ 29歳以下

【お住まいの地区】

① 花川北 ② 花川南 ③ 花川東 ④ 花畔 ⑤ 緑苑台 ⑥ 樽川
⑦ 本町 ⑧ 八幡 ⑨ 厚田区 ⑩ 浜益区 ⑪ その他

【職業】 ① 会社員 ② 自営業 ③ 農漁業 ④ 専業主婦 ⑤ アルバイト・パート
⑥ 学生 ⑦ 無職 ⑧ その他（ ）

問1 最近の体調や健康状態はいかがですか。ご自身の状況（近いもの）をお答えください。

- ① 良好
② 普通
③ 持病などの不調はあるが、生活上の支障なし
④ 入退院の繰り返し、または障がいや要介護状態で生活上の支障あり
⑤ その他（ ）

問2 日頃から健康のために心がけたり、習慣にしていることはありますか。 ※複数回答可

- ① 食事の量、バランスに気をつけている
- ② 運動や体を動かすようにしている
- ③ 睡眠時間や生活リズムに気をつけている
- ④ 特に気にしていない
- ⑤ その他（

問3 過去2年以内に健康診断（身体測定、血圧、血液、尿などの検査）を受けましたか。

※持病の定期検査を除く。

- ① 市国保、または他の健康保険制度で受けた
- ② 職場で受けた
- ③ 自費で受けた
- ④ 受けていない
- ⑤ おぼえていない

問4へ進む

問7へ進む

【問3で①～③と回答した方】

問4 受診の理由、きっかけを教えてください。 ※複数回答可

- ① 病気の予防・早期発見
- ② 健康面の心配事や経過観察
- ③ 国保または職場からの勧め
- ④ 家族や周囲からの勧め
- ⑤ その他（

【問3で①～③と回答した方】

問5 どのくらいの頻度、間隔で受診していますか。

- ① 毎年
- ② 2年に1回
- ③ 数年ぶり
- ④ 初めて
- ⑤ 前回は5年以上前

問6 検査結果や医師からの指摘事項にはどのくらい留意していますか。ご自身の状況や考え（近いもの）をお答えください。

- ① 精密検査などの指示は受けていないが、検査値には注意している
- ② 精密検査などの指示に従い、再検査などの受診をしている
- ③ 精密検査などの指示は受けていないため、結果はさほど気にしていない
- ④ 精密検査などの指示はあったが、再検査などの受診はしていない
- ⑤ その他（ ）

問10へ進む

【問3で④～⑤と回答した方】

問7 受診できない、または受診しようと思わない理由があれば教えてください。 ※複数回答可

- ① 時間がない・自分の予定と合わない
- ② 費用をかけたくない・高い
- ③ 必要性を感じない・面倒である
- ④ 検査に抵抗がある・結果等が不安
- ⑤ その他（ ）

問8 最近の医療機関受診について、ご自身の状況（近いもの）をお答えください。

- ① 気になる自覚症状等がないため受診していない
- ② 特に不安はないが、何かあれば病院へ行く
- ③ 定期的な受診や服薬をしている
- ④ よほどのことがないかぎり病院へは行かない
- ⑤ その他（ ）

【問3で④～⑤と回答した方】

問9 健康診断に関するイメージや印象について、ご自身の考え（近いもの）をお答えください。
※複数回答可

問9 健康診断に関するイメージや印象について、ご自身の考え（近いもの）をお答えください。
※複数回答可

- ① 病気の早期発見や健康管理に役立つ
- ② 体調の変化に気づける
- ③ 結果の見方や用語が難しく、日常生活にいかせない
- ④ 専門医で精密検査を受けなければ詳細がわからない
- ⑤ その他（ ）

問10 健康保険が40歳以上の方を対象に、生活習慣病、特にメタボリックシンドロームの予防と改善に着目した「特定健康診査（特定健診）」を実施していることを知っていますか。

- ① 名称を知っており、内容もよく知っている
- ② 名称を知っており、内容もおおよそ知っている
- ③ 名称を知っており、内容は知らない
- ④ 名称を知らないが、内容はおおよそ知っている
- ⑤ 名称も内容も知らない

問11 市国保では特定健診の自己負担額を住民税課税世帯を600円、非課税世帯を0円として取扱いしています。この料金設定について、ご自身の考え（近いもの）をお選びください。

- ① 課税・非課税ともに妥当
- ② 課税世帯も0円にするべき
- ③ 課税世帯の金額を引き上げるべき
- ④ 非課税世帯の金額を有料にするべき
- ⑤ 判断できない・わからない

問12 保健指導や健康相談、健康支援という言葉全般から、期待する内容やイメージをお答えください。 ※複数回答可

- ① 自分の状況に合ったアドバイスが受けられる
- ② 専任の保健師などに健康に関わる相談ができる
- ③ 無理な目標や義務が課せられそうで気が重い
- ④ 個人的なことに対して他人が関わらないでほしい
- ⑤ その他（ ）

【40歳以上の方へお聞きします】

問13 市国保では、かかりつけの医療機関における持病の検査結果を利用して、「特定健診」の受診に代えることができる『特定健診情報提供事業』を実施しております。持病以外の生活習慣病の可能性を調べるものですが、ご自身の状況や考え（近いもの）をお答えください。

- ① 特定健診を受けるため必要ない
- ② 利用したことがある・利用してみたい
- ③ 利用しようとしたが、医療機関に対応してもらえなかった
- ④ 利用したくない・持病の検査だけで十分
- ⑤ その他（ ）

問14 健康保険では40歳以上の方に「特定健診」の結果から生活習慣病の危険があり、生活習慣の改善が必要と考えられる方には「特定保健指導」を案内しておりますが、そのことを知っていますか。また、ご自身の状況（近いもの）をお答えください。

- ① 実際に指導の対象となったことがある → 問15へ進む
- ② 知っているが指導の対象となったことはない
- ③ 知らないが検査結果に異常がないから関係ない
- ④ 特定健診を受けていない
- ⑤ 知らない・わからない
- 問16へ進む

【問14で①と回答した方】

問15 そのときに指導を受けたかどうかなど、ご自身の状況（近いもの）をお答えください。

- ① 危機意識を感じて指導を受けた
- ② 指導を受けたかったが、時間や場所の条件が合わなかった
- ③ 自分で解決しようと、指導は受けなかった
- ④ 生活習慣を変えるつもりがなく、指導は受けなかった
- ⑤ おぼえていない・わからない

問16 「特定健診」の受診率や利便性を向上させるために、どのような取り組みが必要だと思いますか。 ※複数回答可

- ① 受診日時の拡大や延長（土日・夜間等）
- ② 集団健診（市に申込み）の実施回数を増やす
- ③ 予約や結果通知に電子メールやインターネットの機能を活用
- ④ 自己負担額を下げる
- ⑤ 特になし・その他（ ）

問17 昨今、糖尿病の悪化により人工透析が必要となる患者が増加しており、全国的に重症化予防への取り組みが強化されています。市国保でも透析治療を未然に防止する目的からも重症化予防事業を進めていますが、糖尿病についてご自身の認識（近いもの）をお答えください。

※複数回答可

- ① 治療や通院が大変と知っている
- ② 合併症により、失明や手足が壊死する場合もあると知って恐ろしい
- ③ 軽症の患者も多いことから、それほど重大な病気とは考えていない
- ④ 生活習慣の改善ができずに重症化した場合は自己責任だと思う
- ⑤ 特に考えがない・その他（ ）

問18 近年、うつ病などこころの病気の患者が多くなっています。心の健康に関して、不調や異変を早期に発見して重症化の予防や治療に結び付けるために、効果的な対策はどのようなことだと思いますか。ご自身の認識や考え（近いもの）をお答えください。 ※複数回答可

- ① 自分に何か悩みやトラブルがあれば家族や知人に打ち明け、気持ちの軽減を図るようにする
- ② 家族や知人の様子がおかしいと感じたら、困り事を抱え込まないように配慮してあげる
- ③ 身近に相談できる人がいなければ、公的な相談機関を頼ることも大切
- ④ 精神的な不調や異変に気づいたら、身体的な不調と同様に、専門の医療機関を受診する
- ⑤ 特に考えがない・その他（ ）

問19 市国保から毎年夏頃、他の事業のお知らせと併せて「心の健康」（メンタルヘルス）に関するリーフレットを送付して、症状の紹介や主な相談機関を周知していますが、この相談機関について、ご自身の認識や状況（近いもの）をお答えください。

- ① 具体的な相談機関について知っている
- ② 公的な相談機関があることは知っているが、名称や連絡先は知らない
- ③ 公的な相談機関があることは知らないが、リーフレットが送付されていることは知っている
- ④ 公的な相談機関があることは知らないし、リーフレットが送付されていることも知らない

問20 高齢化や疾病の多様化などで増加し続ける医療費の抑制のために、市国保では従来からパンフレットなどで参考情報をお知らせしておりますが、賛同できるものを教えてください。

※複数回答可

- ① 同じような症状のために複数の医療機関を重複して受診しない
- ② 時間外や休日は割増料金が発生するので、緊急でない時は安易に受診しない
- ③ 病気やけがで救急車を呼ぶか迷ったときは、救急安心センター（#7119）へ電話相談する
- ④ かかりつけの病院と薬局を決めて、診察や薬の処方を受ける
- ⑤ 特に考えがない・その他（ ）

問21 ジェネリック医薬品〔後発医薬品〕が、最初に作られた先発医薬品と比較して、同じ成分・効能でありながら安価であることを知っていますか。また、ジェネリック医薬品の利用状況や医薬品に対する考え（近いもの）をお答えください。 ※複数回答可

- ① 知っていて、積極的に利用している
- ② 知っているが、利用できない（自分の薬にはジェネリック医薬品が無いなど）
- ③ 知っているが、利用したくない（自分の体質に合うかわからないなど）
- ④ 知らない・わからない
- ⑤ 特に考えがない・その他（ ）

問22 市国保からの各種お知らせや健診関係の情報等は、どの媒体や手段が便利ですか。

※複数回答可

- ① 広報または折り込みチラシ
- ② ホームページ
- ③ 個人宛て郵便物
- ④ 電子メール・SNS等
- ⑤ その他（

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒で、ご返送をお願いします。

お問い合わせ先 石狩市役所保健福祉部 国民健康保険課 給付担当 Tel 0133-72-3633